

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

配当金受領株主確定日 期末配当 11月30日
中間配当 5月31日

定時株主総会 毎年2月

公告方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
TEL 03(3279)5151

～株主の皆様へ～

ホームページのご案内

当社に関する情報がご覧になれます。



<http://www.hokkochem.co.jp/>

第65期 中間事業レポート

(平成25年12月1日から平成26年5月31日まで)



北興化学工業株式会社

●株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第65期上期（平成25年12月1日から平成26年5月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

■ 上期の事業の経過および成果

当期間におけるわが国経済は、消費税率引上げの影響により、個人消費や生産に弱さが見られるものの、雇用情勢や企業収益の改善、設備投資の増加など緩やかな回復基調が続いています。一方、円高是正と新興国の旺盛な需要を背景とした原材料価格の上昇、アメリカの金融緩和縮小の見通しや中国を中心とした新興国経済の下振れリスクは、わが国経済に与える影響が大きいことから、今後の回復基調の継続は不透明な状況にあります。

国内農業につきましては、農業従事者の高齢化、後継者不足や耕作放棄地の増加など構造的な問題を抱え厳しい状況が続いています。これに対し政府は「農林水産業・地域の活力創造本部」において、農林水産業の強化策である「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂版を公表し、TPP交

渉の行方を見据えた農政改革推進の意向を表明しております。

このような状況のもと、当社グループの上期の業績は、農薬製品の販売において、流通在庫の減少などにより出荷が増加したことに加えて、ファインケミカル製品においても、主に国内の受注が好調に推移したことから、全体の売上高は241億1千3百万円（前年同期比29億5千4百万円の増加、同14.0%増）となりました。

利益面では売上高が増加したことなどにより、営業利益は15億2千1百万円（前年同期比9億5千4百万円の増加、同168.2%増）、経常利益は13億9千7百万円（前年同期比6億4千3百万円の増加、同85.4%増）、四半期純利益は8億2千6百万円（前年同期比4億8百万円の増加、同97.5%増）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき4円とさせていただきます。また、年間の配当につきましては、公表どおり8円とさせていただきます。ご予定でございます。

■ 通期の見込み

当社グループの通期の業績予想につきましては、今後の景気動向が不透明な状況であることから、公表どおり、売上高409億円、営業利益10億円、経常利益10億円、当期純利益6億円を見込んでおります。

農薬事業におきましては、縮小傾向にある国内農薬市場、激化する販売競争下においても、安定した収益を確保できるよう、製造原価をはじめとする様々なコストの削減、業務の見直しによる生産性や業務効率の向上、効率的な生産体制の構築による在庫の削減に努めます。また、平成25年8月に農薬登録を取得した水稲用除草剤「ウィナー剤」の平成27年度からの本格販売に向けて、広告宣伝など普及活動に注力し、市場開拓を図ってまいります。

ファインケミカル事業におきましては、景気回復の動きが弱い欧州経済や国によってバラツキが見られる新興諸国の景気動向の影響など、引き続き厳しい事業環境が懸念されますが、独自技術を活かした製品の拡販並びに海外向け新製品の投入と顧客開拓の強化に努めます。また、新たな技術

への対応を目的に岡山工場の中間プラント設備の拡充を進め、新製品の開発・製品化のスピードアップを図ってまいります。

今後とも株主の皆様のご期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月



代表取締役社長

中島喜勝

● 連結財務諸表(要旨)

● 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成26年5月31日現在)	前第2四半期 (平成25年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年11月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	32,948	31,266	27,955
固定資産	12,903	13,913	13,507
資産合計	45,851	45,179	41,462
(負債の部)			
流動負債	23,664	22,978	20,196
固定負債	7,133	7,714	6,767
負債合計	30,797	30,692	26,963
(純資産の部)			
株主資本	13,789	13,118	13,076
資本金	3,214	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608	2,608
利益剰余金	8,965	8,291	8,250
自己株式	△ 998	△ 996	△ 997
その他の包括利益累計額	1,264	1,369	1,423
その他有価証券評価差額金	1,118	1,201	1,233
繰延ヘッジ損益	△ 3	23	15
為替換算調整勘定	149	146	175
純資産合計	15,054	14,487	14,499
負債及び純資産合計	45,851	45,179	41,462

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成26年5月31日まで)	前第2四半期 (平成25年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成25年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,483	△2,722	3,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 566	△ 971	△1,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,399	3,622	△2,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 14	182	197
現金及び現金同等物の増減額	336	111	△ 76
現金及び現金同等物の期首残高	1,022	1,098	1,098
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,358	1,209	1,022

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

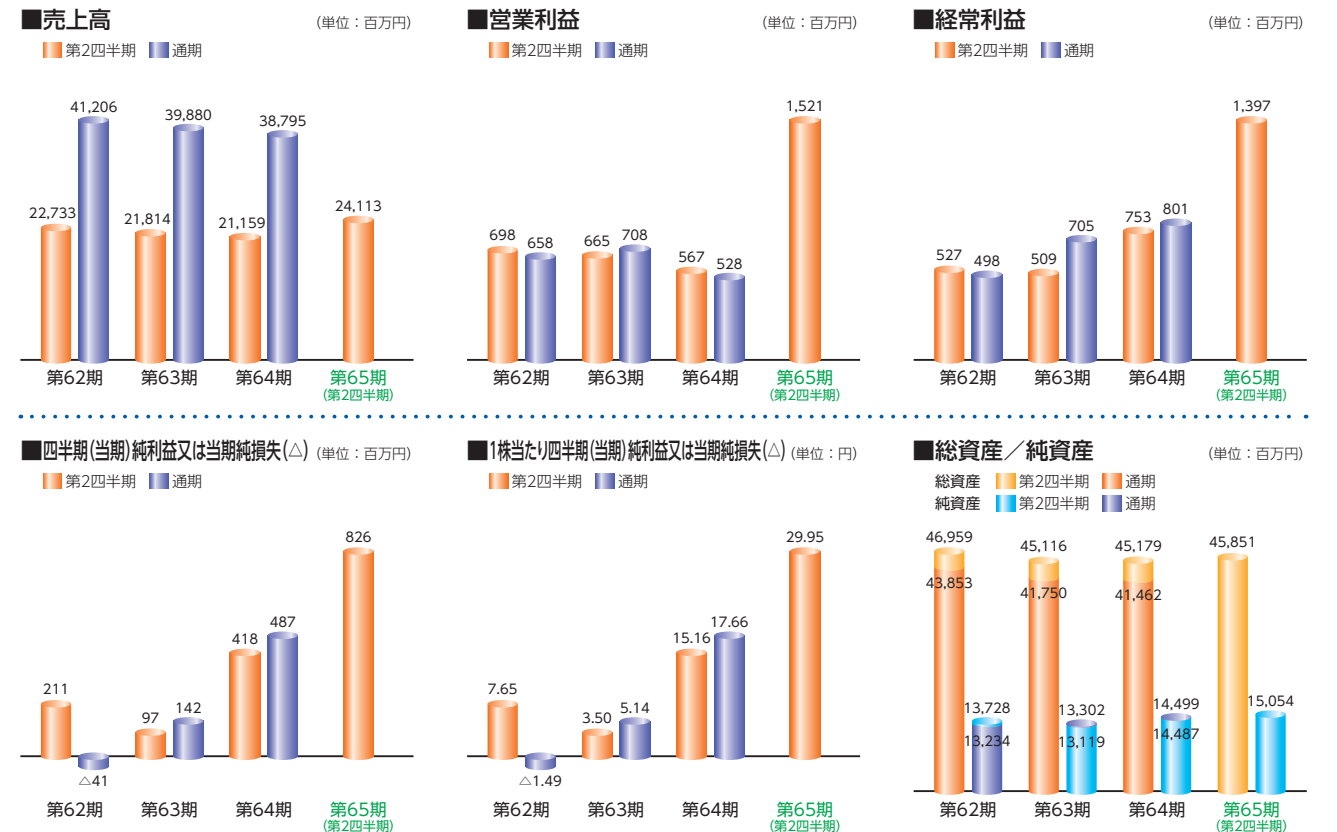
科目	期別		
	当第2四半期 (平成26年5月31日まで)	前第2四半期 (平成25年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成25年11月30日まで)
売上高	24,113	21,159	38,795
売上原価	18,429	16,556	30,197
売上総利益	5,684	4,603	8,598
販売費及び一般管理費	4,163	4,036	8,069
営業利益	1,521	567	528
営業外収益	178	491	938
営業外費用	301	304	665
経常利益	1,397	753	801
特別利益	42	1	186
特別損失	8	36	62
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,431	719	926
法人税等	605	300	438
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	826	418	487
四半期(当期)純利益	826	418	487

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 連結財務ハイライト

	第62期		第63期		第64期		第65期
	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)
売上高(百万円)	22,733	41,206	21,814	39,880	21,159	38,795	24,113
営業利益(百万円)	698	658	665	708	567	528	1,521
経常利益(百万円)	527	498	509	705	753	801	1,397
四半期(当期)純利益又は当期純損失(△)(百万円)	211	△ 41	97	142	418	487	826
1株当たり四半期(当期)純利益又は当期純損失(△)(円)	7.65	△ 1.49	3.50	5.14	15.16	17.66	29.95
総資産(百万円)	46,959	43,853	45,116	41,750	45,179	41,462	45,851
純資産(百万円)	13,728	13,234	13,119	13,302	14,487	14,499	15,054

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。



トピックス

平成25年度日本ファインセラミックス協会・技術振興賞受賞

ファインケミカル事業において、独立行政法人産業技術総合研究所と共同で、「コアシェル型セリアナノ粒子の量産化開発」について、技術振興賞を受賞しました。粒子の構造や生成機構を解明し、これまで得られなかった粒径20nm^{ナノミクロン}のコアシェル型セリアナノ粒子の量産化技術の確立が高く評価されたものです。

セリアが持つ高屈折率という特徴と粒子を小さくすることで、透明性を兼ね備えた樹脂フィルムの作製が可能となり、液晶ディスプレイなどに使用される反射防止フィルムへの応用が期待されています。

現在、当社で粒径20、40、70nm^{ナノミクロン}のコアシェル型セリアナノ粒子のサンプルワークを開始しております。



記念の賞状と表彰楯

「環境・安全・健康」への取り組み

当社グループでは、化学物質を取り扱う企業の社会的責任として、製品の開発から廃棄に至る全ての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保する活動（レスポンシブル・ケア活動）を推進し、環境保全、労働安全衛生、保安防災、物流安全、化学品・製品安全、社会との対話に積極的に取り組んでいます。

これらの取り組みについては、「レスポンシブル・ケアレポート」として取りまとめ、公表しています。「レスポンシブル・ケアレポート」については、当社ホームページからご覧いただけます。



レスポンシブル・ケアレポート
2014

会社の概要

(平成26年5月31日現在)

会社の商号 **北興化学工業株式会社**
 (英訳名) **HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.**
 本社 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
 創立年月日 昭和25年2月27日
 資本金 32億1,395万円
 上場取引所 東京証券取引所 市場第1部上場
 従業員数 670名

役員・執行役員の状況

(平成26年5月31日現在)

代表取締役社長	中島喜勝
取締役専務執行役員	小川裕二
取締役常務執行役員	内山次男
取締役常務執行役員	鎌木信良
取締役	貫和之
取締役	大林守
取締役	門前一夫
常勤監査役	白岩憲史
常勤監査役	渡辺英夫
監査役	中崎正彦
監査役	高橋利隆
執行役員	大澤賛
執行役員	橋本哲芳
執行役員	森田健平
執行役員	小柴修司
執行役員	塚原真也
執行役員	安村昌也
執行役員	佐野健一
執行役員	竹田正雄

(注) 1. 貫和之、大林守、門前一夫の各氏は、社外取締役であります。
 2. 白岩憲史、中崎正彦の両氏は、社外監査役であります。
 3. なお、7月8日付で内堀幸隆、成田哲明の両氏が執行役員に就任しております。

株式の状況

(平成26年5月31日現在)

●発行可能株式総数 92,000,000株
 ●発行済株式の総数 29,985,531株
 ●株主数 5,288名
 (前期末比221名減)

連結子会社の状況

(平成26年5月31日現在)

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
北興産業株式会社	30	100
美瑛白土工業株式会社	10	100
ホクコーパックス株式会社	10	100
張家港北興化工有限公司	1,800	100

(注) ホクコーパックス株式会社の当社の議決権比率には、間接所有40%を含んでおります。

事業所の所在地

(平成26年5月31日現在)

支店 札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、
 名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
 工場 北海道、新潟、岡山
 研究所 開発研究所(神奈川)、
 化成品研究所(神奈川)
 試験農場 北海道、静岡